

平成 29 年度 <b>9 月号</b> 熊谷市立久下小学校	<h1>久下小だより</h1> 草青く 水清し 久下小学校 - 私たちはムサシトミヨを守りつづけます -	(9 月の生活目標) <b>右側を静かに歩く</b>
--------------------------------------	---	-------------------------------

## いよいよ前期後半がスタート!

前期後半がはじまり、子供たちの元気な笑顔があふれています。夏休み中は、交通事故等もなく病気を患うこともなく過ごすことができ、何よりもうれしく思います。

さて、8 月 23 日全国高校野球選手権大会の決勝戦が行われ、見事、埼玉県代表の花咲徳栄高校が広島県代表の広陵高校を 14 対 4 で破り、優勝することができました。参加 3839 校の頂点に立つことができました。岩井監督は「本当に辛い道を一つ一つ、一步一步よく駆け上がってくれたと思う。選手が私を信じて、日々つらい練習を成し遂げてくれた結果です。」と目頭を熱くさせてインタビューに答えていました。監督と選手の絆の深さとチーム花咲で努力する選手の頑張りが伝わってきました。

久下小の子供たちも、チーム久下小で学級・学年の絆を深め、先生方を信じてこれからの楽しい学校生活を送ってほしいと願います。これからも、本校教育活動に対して、ご理解とご協力をお願いします。

## 千利休「利休七則」を学校生活に生かす

「利休七則」とは、千利休が遺した言葉で、お茶の基本の心構えである「おもてなし」について記した七つの心得です。千利休といえば、安土桃山時代に茶の湯を道として大成させた有名な茶人です。この利休の「おもてなし」の心が、さまざまな人とコミュニケーションをとりながら生活する学校生活(社会)の参考となると思われましたのでご紹介します。



まず、利休七則の心得をご紹介します。

- ①茶は服のよきように点(た)て⇒**相手の気持ちを考えて** ②炭は湯の沸くように置き⇒**相手に合わせた準備を** ③花は野にあるように⇒**本質を簡潔に表現して** ④夏は涼しく冬暖かに⇒**相手を想う心のもてなしを** ⑤刻限は早めに⇒**ゆとりは自らの心がけで** ⑥降らずとも傘の用意⇒**備えは万人の憂いを想定して** ⑦相客(そうきやく)に心せよ⇒**一期一会の無垢な心で** というものです。(詳しくは略)

人間関係が希薄になりがちな昨今ですが、互いに気を配り尊重しあう茶道の「おもてなし」の心や、相手を思いやる心を胸に刻み、ともに楽しく学校生活を送れると素晴らしいと思います。

9 月 行事予定	
1	金 身体測定(低) 避難訓練
2	土
3	日
4	月 教育実習開始(～15日)
5	火 音楽朝会
6	水 教育相談希望制 C日課 PTA 運営委員会
7	木 児童委員会 フッ化物洗口 3年社会科見学
8	金 長土手音頭研修 6年
9	土 熊谷市科学展(くまびあ)
10	日 久下地区敬老会 熊谷市科学展(くまびあ)
11	月 くまなびスクール 一斉下校
12	火 ブロック集会 1.2年虫取り 3年昆虫調べ
13	水 JRC の日
14	木 クラブ⑨ フッ化物洗口
15	金 体育着販売(昼休み)
16	土
17	日 太井地区敬老会 発明創意工夫展
18	月 敬老の日
19	火
20	水 アルミ缶回収 運動会全体練習
21	木 運動会児童打ち合わせ フッ化物洗口
22	金
23	土 <b>秋分の日</b>
24	日
25	月 くまなびスクール
26	火 運動会全体練習
27	水 受動喫煙検診 運動会児童係打ち合わせ
28	木 受動喫煙検診 フッ化物洗口 代表委員会 運動会全体練習
29	金 運動会準備 特D日課
30	土 第71回運動会

## 7月21日（金）学力向上



各学年とも、前期前半の学習状況を振り返り、学力向上のための学習会を行いました。参加した児童は熱心に学習に取り組む、学習内容を理解することができました。「分かる、できた！」という喜びを味わっていました。

## 7月31日（月）水泳教室



真夏の太陽が照りつける中、水泳教室を実施しました。子供たちは泳力を付けるため、バタ足の練習や腕の使い方を楽しそうに学んでいました。

## 8月2日（水）東京電力・樹木の伐採



正門の東側の樹木の枝が繁り、電線に架かるようになってしまいました。東電に依頼し、樹木の枝を無料で伐採していただきました。これから、校庭の南側の樹木の枝も剪定・伐採する予定です。

## 8月4日（金）英会話教室



英会話教室が低学年・高学年の2部に分かれて開かれました。子供たちや保護者の方にも参加していただき、英語に慣れ親しむ活動を行いました。



平成30年度からは、3・4年生で外国語活動年間15時間、5・6年生は、週2時間、年間70時間実施します。内容的には、英語の音声やリズムに慣れ親しむことや日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くことなどを勉強します。特に5・6年生では、文の構造や読むこと及び書くことも勉強します。

なお、私が視察したハンガリーやイタリアでは、小学校1年生から英語を学んでいました。

## 8月19日（土）奉仕作業



（校庭南側）



（理科室前）



（南校舎前 花壇）



（トイレ清掃）

雨が心配される中、親子奉仕作業にご協力をいただき、ありがとうございました。

校庭や花壇、トイレ、エアコンをはじめ、隅々まで丁寧に除草や掃除をしていただき、とてもきれいになりました。なんと、草を入れたビニール袋は100袋以上となりました。

大人が手本となり、除草する姿を見せてくれたお陰で、子供たちも一生懸命除草を行いました。立って遊んでいる子はまったくいませんでした。「さすが久下小の子供たちは偉い」と感心しました。

イチョウや紅葉等の樹木も剪定していただきました。風通しが良くなり、木の葉が青々と茂っています。ありがとうございました。

## 8月22日（火）6年永井杏奈さん：北部地区人権教育実践報告会 6年生の部代表で発表



北部地区人権教育実践報告会が江南ピピアで開催され、永井さんの人権作文が、北部地区6年生の代表に選出されました。

永井さんは、ひいおばちゃんとの触れ合いをテーマに人権作文にまとめました。作文の文末の呼びかけに、「誰とでも分け隔てなく仲よく接することが大切です。」と書かれてありました。

堂々とはっきりした声で発表することができて、満員の会場からは、大きな拍手をいただきました。ご苦労様でした。